



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田元照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第158号

平成29年
12月15日
発行

第60回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会・ 第49回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催

平成29年9月29日(金)30日(土)の二日間にわたり、「人生のスタートにこそ良質な教育を～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～」のテーマのもと、第60回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会・第49回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催されました。

一日目は、各区の会員園から私立幼稚園・認定こども園20園、市立幼稚園2園の計22園の会場で、午前中は公開保育と保育研究、午後の分科会では各園様々なテーマでの実践研究発表やグループディスカッション、ワークショップなどが行われ、参加した先生方にとってはとても実りのある、有意義な一日目となりました。

二日目は、わくわくホリデーホールに会場を移し、全体会が行われました。セレモニーでは、大会長の前田元照札私幼会長、川島孝教北私幼会長の挨拶に続き、ご来賓である北海道知事 高橋はるみ様、札幌市長 秋元克広様、前衆議院議員 高木宏壽様よりご祝辞をいただきました。他にも、日々幼児教育にご尽力くださっている札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々にもご臨席をいただきました。

基調講演では、「いま、求められる保育の質～教育要領改訂を踏まえて～」と題して、玉川大学教育学部教授 大豆生田啓友先生よりご講演をいただきました。大豆生田先生が訪問した園のお話や、担任をしたクラスでの体験談などを交えながら、私達現場にいる教師にとってはとても身近に感じられる話題を通して、保育の質についてわかりやすくお話していただき、改めて非認知能力や自己肯定感を育むことの大切さを実感しました。意欲や自尊心、粘り強さ、人とかかわる力



などで表される“非認知能力”は、子ども主体の遊び中心の保育によって育ち、遊び中心の保育とは遊び込むことができる環境が保証されていること、また遊び込む経験は試行錯誤に繋がり、そこで周囲の大人から肯定的に受け入れられたり成功体験を重ねることで自己肯定感が育ちます。大豆生田先生のお話の中に「大人から肯定的に受け止められた子の、その後の育ちは良質」という言葉があり、目の前の子どもに向けた何気ない一言が、その後のその子の人生に影響を与えることを常に心に留め、一人ひとりと丁寧に向き合うことができる先生、また子ども一人ひとりの素敵な部分に気づくことのできる感性豊かな先生でありたいと改めて感じました。

幼稚園で過ごす時間は、長い人生においてはほんの2～3年の通過点に過ぎないかもしれませんが、かけがえのないその2～3年に携わることができる私達の仕事はとても尊い仕事であり、やりがいに満ちていることを実感しました。これからも、子ども達一人ひとりを大切に、手厚く肯定的なかかわりができる先生でありたい、また幼児期に体験したことがそれぞれの子ども達の人生の糧になることを願いながら保育をしていきたいと、会場にいる先生方みなさんが感じたのではないのでしょうか。

今年度も、二日間にわたりとても有意義な研究大会となりました。今回の学びを、各園における日々の保育のさらなる充実と子ども達の成長、そしてこれからの幼児教育の発展に繋げていきたいと思っております。



私立幼稚園就職フェア

今年で4回目を迎えた札幌市私立幼稚園連合会主催の就職フェア ミライノトビラ～子どもとあそぼう！子どもとつくりよう！～が、昨年同様に9月23日土曜日午後からホテルさっぽろ芸文館にて開催されました。養成校の中には学校祭と重なったことなども影響したのでしょうか昨年度より若干来場者数が少なかったのが開催側としては幾分残念な思いでした。それでも開場とともに徐々に学生さんの数が増え、各園のブース前や園紹介のパネルコーナー、求人票掲示前などに真剣なまなざしで見つめる姿がみられました。昨年来場して下さった皆さんの様子から今回は、ブースを回った後、ゆっくりパンフレットや資料などを手元に仲間と談笑する時間を提供できる場所を設置してみました。

椅子・テーブルの他キャンデイなども置いて来場者の皆さんを迎えましたがおおむね好評の様子でした。

アンケート結果にもありましたが各ブースをしっかりと回ることができ良かったとの感想を始め、「全部の園が出てないのですか？」との声もあり来場して下さった皆さんの要望に応えるにはまだまだ開催側としてクリアしなければならない課題も多いと感じながら学生さんの質問などに答えつつ終了の時間を迎えました。

参加して下さった会員園の皆様、当日お手伝い頂いた振興委員の皆さん大変お疲れさまでした。また初めてお揃いのTシャツで動き回った広報委員でしたがス



タッフとしてわかりやすく声をかけやすかったという評判にほっとし、責任の一端を果たせたのではないかと思います。

来年は会場を札幌ガーデンパレスに移し、9月30日曜日を予定しています。各園が採用に向けてより効果の得られる就職フェアを念頭に準備を進めたいところです。

あらためて会員園の皆さんのご支援ご協力をお願い致します。



第1回リーダー“力”スキルアップ講座

第1回リーダー“力”スキルアップ講座が10月30日(月)に、かでの2・7で行われました。講師は、学校法人ひじり学園せりひじり幼稚園理事長・園長(全日私幼 前研究研修委員長)であられる安達 譲先生をお招きし、「主体的に生きる子を育てる」一指針・要領等の改訂を踏まえて一というテーマでご講演頂きました。



改訂の背景として、近い未来には少子化により現在の職業の多くは存在しなくなることから、自分らしさを発揮して生きていく力が求められるため、非認知能力や、アクティブラーニングが重要になってくること。その為、保育の質の可視化、また保育の営みにおける子ども理解について、スライドの写真を使いながら分かりやすくお話し頂きました。

質の高い保育を目指して行くためには、カリキュラムマネジメントを園全体で実施していくこと。家庭や地域の資源も活用しながら、何が育っているのか、その為には何をすべきかという、コンテンツ(中身)から、コンピテンシー(能力)が求められていること。幼児期の終わりまでに育てほしい姿という出口から考えていく大切さをお話しされました。

“子どもの主体性の育ちを支えているのは保育者の主体性である”との言葉に改めて幼児教育を実践する者としての責任を再確認させて頂いた研修になりました。

さっぽろ・ようちえん・にこにこフェスティバル

今年も8月26日(土)に札幌市立大通高等学校と札幌市立中央幼稚園を会場として「さっぽろ・ようちえん・こどもえん・にこにこフェスティバル」が開催されました。

幼稚園・こども園を幅広く知っていただくこと、札幌市幼児教育センターが中心となり未就園のお子さんと保護者さんを対象に毎年この時期に行っています。

遊びのコーナーでは【ままごと】【魚釣り】【運動遊び】【工作】などを準備し、子ども達が思い思いの遊びを楽しむ姿が見られました。親子で遊ぶだけではなく先生や居合わせたお友達と遊ぶなど集団活動の雰囲気味わえたのではないのでしょうか。市立大通高校の生徒さんによる和太鼓の発表や私立幼稚園の先生による手遊び・歌遊び、北翔大学の学生ボランティアの踊りなどの催し物、絵本図書館から持って来ていただいた絵本コーナーもあり、少しでも楽しい場になるよう盛り沢山な内容で、どのコーナーも大変賑わっておりました。

また、保護者向けに私立・市立幼稚園の先生から幼稚園・こども園の詳細について話を聞いていただく時間を設けたり、個別に相談できるコーナーでは、お子さんを育てる上での相談はもちろんですが、特に幼稚



園やこども園への就園や我が子の発達に関してもたくさんの方の相談が寄せられていました。遊びの空間だけではなく、保護者の方に一つでも多くの情報を提供することが出来るような場になるよう今後は、保護者支援も視野に入れ取り組みをするのも必要であり大切なのではないかと思います。

台風が近づき風が強くてお天気が心配な日でしたが、多くの保護者さんや小さなお子さんが来場していただき就園・幼児教育への興味・関心の高さを改めて感じた一日でした。

平成29年度 第2回乳幼児保育研修会

11月21日(火)かでの2・7にて、「第2回乳幼児保育研修会」が開催されました。今回は、漫画家であり、おもちゃデザイナー、積木パフォーマーでもある相沢康夫氏をお迎えしての研修会でした。「楽しいと思えることが大切」という相沢先生の言葉通り、様々な積み木を使ってのパフォーマンスから研修会がスタート。次々に繰り広げられていく積み木の世界に、参加されていた先生方も夢中です。会場中からは自然と歓声や笑い声が溢れ、まるで子どもになったような気分を楽しませていただきました。

乳児(0・1・2歳児)に大切なものや環境は、①入れ物と出し入れするもの②布(様々な素材、大きさ、色)③ボールの三つ。幼児(3・4・5歳児)は、①おもちゃができるもの、場所②人形③積み木の三つであることをお話していただきました。これはどれも特別なものではありません。昔から身近にある物ばかりです。物が溢れている今の時代、子ども達の周りにはいつもたくさんのおもちゃがあることが当たり前になっているように思います。そのような環境だからこ

そ、どのような物が子ども達には大切なのか、必要なのかということ、私たち保育者が改めて考えていくことが重要なのだと感じました。子どもが「楽しい」と目を輝かせて、夢中になれる遊びは何か。もう一度原点に戻って考えていきたいと感じる研修会でした。



特別支援教育研修会

札幌市私立幼稚園連合会主催の特別支援教育研修会が、11月30日（木）にエルプラザホールにて行われました。この研修は支援担当者研修にもなっており、約160名の先生方が集まりました。講師として、明星大学教育学部教育学科教授 保健学博士 星山 麻木先生をお招きし、「インクルーシブ教育と支援の実際」というテーマで講演していただきました。

星山先生は、始めに障がいという言葉ではなく「発達の多様性がある子」と考える必要性の話をされ、「ふつつ」とは何か、普通と発達の多様性の違いはあるのかをわかりやすく伝えていただきました。その中で、自分にも当てはまることもあり興味が深まる内容となりました。また、実際の保育の場では、どの子ども達にもわかりやすく伝えようとするのが大切であること、やさしさや思いやりの気持ちを持ちながらそれぞれの発達に合わせて工夫する事が合理的配慮になることと聞き、インクルーシブ教育の考え方が身近に感じました。そして、出来ないところを出来るようにする

のでなく、ありのままの姿を受け入れ、その姿を理解し尊重していく保育が必要とされていることやその保育の方法に正解はなく、とにかく行ってみることが大切であることを聞き、勇気が持てた方も多かったと思います。

後半には、特別支援教育は人間理解の教育と考えている星山先生は、子ども達の特性を7色に分けて見ることで、親や周りの人達が理解しやすくなることを話されました。各自話を聞きながら、自分自身にも照らし合わせ、何色の特性があるのか考えることもでき、特性を理解する方法を楽しく学ぶことができる時間となりました。



平成30年度予算要望活動

札私幼執行部は、各区の理事の皆様を通じて会員園からご意見を伺い、来年度予算への要望内容を整理して「平成30年度の予算に対する要望書」をまとめました。そして11月9日（木）、札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々との同席のもと、前田会長はじめ札私幼総務委員、札私幼P連の会長・副会長が出席して、札幌市役所で予算要望を行いました。前田会長から岸副市長に要望書を提出し、小林P連会長からSS（スタートストロング）運動の36,194名分の署名簿を長岡教育長に手渡した後、丸谷副会長から要望趣旨を説明しました。例年の要望内容に加え、新制度に係る

事項として、1号認定子どものアレルギー補助や、国の子育て安心プランにおいて示されている「幼稚園における2歳児の受入れ」に関する事業の実施促進を求める内容です。また、今年度のSS運動は、幼児教育の無償化を今までよりも鮮明に打ち出しましたが、政府が教育無償化を加速的に進めていこうとしている中、札幌の保護者の願いも強いものであることをP連としてアピールする場にもなりました。

なお、詳細については、現在も折衝中です。結果がわかり次第、理事会・広報誌などを通じてお知らせいたします。



予算要望内容

札私幼

- (1) 特別支援教育事業
- (2) 教材教具補助事業
- (3) 新制度に係る事項
- (4) 研修費等助成事業（団体補助）
- (5) 人材確保事業（幼稚園教諭・保育教諭）

札私幼PTA連合会

- (1) 保護者負担の軽減
 - ① 就園奨励費補助金の拡充
 - ② 新制度の利用者負担額（1号認定）の減額
- (2) PTA団体助成金

政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第16回次世代研修会 広島大会 参加報告

平成29年8月24日(木)・25日(金)の2日間、35℃を超える猛暑の広島で政令指定都市私立幼稚園団体協議会 次世代研修会が行われました。「広島でPEACE・BALANCE・ADVANCE」(～広島で大切にしていきたいこと～)というテーマのもと、全国各地から沢山の若手の先生が集まりました。

1日目は開会式の後、講師に文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官 湯川秀樹氏を迎え、新教育要領について、今回の改定のポイントや国として大事にしていきたい事等についてお話しして頂きました。

2日目は原爆ドーム、原爆の子の像を見学し慰霊碑を参拝した後、平和記念資料館や国立広島原爆死没者追悼平和祈念館で原爆が投下された後の街の変遷や「平和」についてどの様に取り組んできたのか、そして被爆体験講話を聞かせて頂きました。70数年前にこの広島で起こった事を決して繰り返してはいけないという思いを強くしたとともに、平和公園を散策している途中、保育園の子どもたちが千羽鶴を抱える先生の後について歩いている場面に出会い、その様子を見ながら平和教育がしっかりとされているん



だなぁと、実感しました。

最後になりましたが、今回このような貴重な機会を頂いた事に感謝致します。ありがとうございました。

(白石幼稚園 太田真理)



平成29年度 幼稚園教諭養成校・札幌市私立幼稚園連合会 懇談会

札幌市内の幼稚園教諭養成校と札私幼の懇談会が12月12日(火)ホテル札幌ガーデンパレスで開催され、養成校15校24名、札私幼18名(理事・監事)が出席しました。光塩学園女子短期大学 工藤 勉教授、札私幼前田 元照会長のご挨拶の後、太田広報委員長より今年度の就職フェアの報告があり、その後、7グループに分かれ、「教育実習」と「就職」をテーマにグループ懇談が行われました。

実習については、評価について話合ったグループが多く、幼稚園側はどのような視点に重点を置いて学生を評価しているのか、養成校側は受け取った評価をどのように成績に反映させているのか等、お互いに曖昧になっていた部分を明確にする事が出来ました。就職については、札私幼の就職フェアや学生の就職に対する意識等について話合う事ができ、各グループともにお互いの現状を踏まえて情報交換を行い、活発な話し合いの場となったようです。

懇親会では、少子化により養成校側にとっても学生の確保が難しくなっている現在、幼稚園と養成校が手を携えながら、幼稚園教諭・保育教諭の仕事の良さや

やりがいアピールする必要性を確認しあう事ができました。

養成校懇談会出席校

藤女子大学
北海道文教大学
札幌国際大学
北翔大学
札幌大谷大学短期大学部
光塩学園女子短期大学
札幌国際大学短期大学部
北翔大学短期大学部
せいとく介護こども福祉専門学校
経専北海道保育専門学校
専門学校北海道福祉大学校
札幌医療秘書福祉専門学校
札幌こども専門学校
札幌スポーツ&メディカル専門学校
美芸学園幼児教育専門学校

平成29年度札私幼就職フェア会員園向けアンケート結果

【就職フェアに参加しなかった園】 39園提出

問1. 就職フェアに参加しなかった理由を教えてください。
(複数回答可)

- a. 日程が合わない 19
b. 次年度の採用がなかった 12
c. 必要性(メリット)が感じられない 4
d. 対応する職員がいない 9 e. その他 7

問2. 開催の時期はどちらが参加しやすいですか？

- a. 従来通りの9月末(求人の有無が見えてくる時期) 18
b. 5月か6月頃(求人の有無関係なく園をPR出来る) 1
c. どちらでもよい 17

問3. 就職フェアに対する意見等

- ・求人の予定がある園にとってはありがたい場であると感じるが、無い園にとっては、時間と労力をかけた分の結果が返ってくるには限らず、学生にとっても、話を聞きに行く動機が高まりづらいのではないかと。全日の「幼稚園ナビ」と連動した施策は有効だと思う。
- ・各園により応募の状況はまちまちであるが、求人・人材難は深刻。しかし、教職を目指している者に就職フェアなるものが必要であろうか。教育実習で感じとり、方向性をつかむものとする。

【就職フェアに参加した園】 46園提出

問1. どのような形で就職フェアに参加しましたか？

- a. ブース参加 17 b. 求人票参加 3
c. ブース・求人票参加 26

問2. 今回は何回目の参加ですか？

- a. 初めて 8 b. 2回目 7 c. 3回目 9
d. 4回目 22

問3. ブースには何人の学生が来ましたか？

- ・10人以下 7 ・20人以下 14 ・30人以下 10
・40人以下 2 ・50人以下 3

問4. 就職フェアの参加は、教員採用にとってメリットがありましたか？(複数回答可)

- a. 学生が見学に来た 23 → 7人 1 6人 1
5人 3 4人 1
3人 6 2人 3
1人 2
b. 直接採用につながった 23
c. 次年度採用がなかった 3 d. その他 3

問5. 次年度の採用がないのに参加した理由を教えてください。

- ・就職学年以外の学生も来ると聞いていたので。
- ・幼児教育の充実のためにも優秀な教職員が必要だと考えているので、採用の有無に関わらず就職フェアに参加し

た。

- ・就職フェアへの協力

問6. 就職フェアに参加して以下の2点についてお答えください。

①良い点

- ・色々な学生に自園の特色を知ってもらえる。
- ・学生と直接話ができ、見学や採用につながる。
- ・学生が職場に望む勤務条件や理想的な職場の雰囲気、職場に対する考え方などを知る良い機会になり、求人对策のヒントが得られる。
- ・他園の求人方法や状況、ブース展開を知ることができる。
- ・学生の人柄に触れる事ができる。
- ・ミスマッチを防ぐ事ができる。
- ・幼児教育の大切さや仕事の魅力をアピールできる。

②改善点

- ・就職学年だけではなく、それ以前の学年の学生や、高校生などにも参加してもらえると、幼稚園業界自体に興味を持ってくれるのではないかと。
- ・私保連と連続の日程で良かったのかどうか？
- ・学生へのブース勧誘が目に見える。他の園が通路に立ち、自園のブースが死角になってしまっていた。
- ・力をいれるなら、フェア用のパンフレットを作成してはどうか。
- ・養成校の行事や保育士試験等と重ならないようにしてほしい。
- ・フェア開催中に本命以外のブースに来てもらえるような仕組みが欲しい。
- ・絵本の読み聞かせや折り紙など、イベントがあった方がよい。
- ・特定の養成校の学生が多かったように思う。もっと養成校にアピールして欲しい。
- ・9月末だと、保育園で内定をもらっている学生がいると聞くので、早めに開催してみて、9月末開催と集客数に差があるか試してみたい。

問7. 開催の時期はどちらが参加しやすいですか？

- a. 従来通りの9月末(求人の有無が見えてくる時期) 29
b. 5月か6月頃(求人の有無関係なく園をPR出来る) 3
c. どちらでもよい 0

問8. 就職フェアに関するご意見をお聞かせください。

- ・ブース位置の抽選制を希望する。
- ・学生が幼稚園を選ぶ際にどういうことを求めているのか、どういうことを知りたいのか、意識調査してほしい。
- ・学生の配布用にペンやメモ帳を用意している園があり、それはどうか？
- ・保育園のフェアと一緒に開催するのはどうか。

就職フェアに関するアンケートにご協力頂き、ありがとうございました。皆様から頂いたご意見を次年度の就職フェアに活かしていきたいと思っております。

おすすめ

第2回

マッキーの文房具

かく

KOKUYO

「鉛筆シャープ」TypeS

下書きをする時、皆さんは何を使って書いていますか？鉛筆だと、書き心地は良いですが、芯が丸まったり折れた時に削らなければならない面倒。シャープペンシルは細かな字は書けますが、筆圧の調整が難しく、折れてしまうことや、消しゴムで消した時に跡が残ってしまうことも・・・。

私は4年前位から「鉛筆シャープ」シリーズを愛用しています！0.7mm 0.9mm 1.3mmの種類がありますが、私は0.9mmを使用しています。

持ち手は固めのラバー製でグリップしやすく、重すぎず、軽すぎず書いていて疲れません。

芯も折れにくく、鉛筆のような書き心地、下書きしても跡が残らないところがお気に入り！！1.3mmですとボード制作で画用紙に下書きする時も活躍しそうですね！！



TypeS ◎ペン先は金属製◎繰り出し消しゴム付き



スタンダード◎0.9mm 1.3mm

「ココフセン・カード」 カンミ堂

ちょっとした時に良く使う付箋。何故か「使いたい」という時に限って見つからない。ペンケースの中でバラバラに・・・なんて経験はありませんか？この「ココフセン・カード」はクレジットカードに近い薄さ！！

1.5mmのパッケージに21枚綴りの付箋を4色収納しています。また、インクの浸透性を高め、書き込みやすさにもこだわっています。補充用の付箋「ココチャージ」もありますので、長く使えるのも特徴です。持っていて、かさばらずスマート&オシャレなところもお気に入りです！！

次号もお楽しみに！！

文房具を選ぶ時、色や形、機能はどうか、手触りや重さはどうか・・・。

実際に手に取ってみることで色々な発見があります。

中には使わずに終わってしまう文房具もありますが、お気に入りの文房具に出会えた時の喜びはこの上ありません！！

自分で使っているだけではなく、誰かに伝えたいくなる・・・！ということで、今回もおすすめ文房具、スタートします！！



けす

Tombow

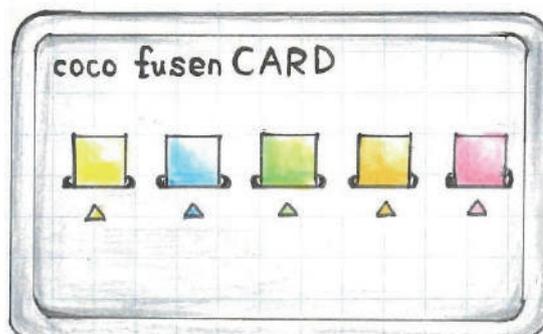
MONO 2way 修正テープ



ペンケースから消しゴムを探すとき、なかなか見つからずイライラしたことはありませんか？そんな時、この修正テープ×消しゴム！！ノートの「消す」機能を両方兼ね備えたスライドヘッド機能の「修正テープ」ならすぐ見つけることができます。上のヘッドを回転すると消しゴムが出てくるすぐれもの！！

テープも消しゴムも詰め替えがありますので、本体を買えば長く使えます。

カラフルな5色のラインナップで展開されています。



↑詰め替え「ココフセンチャージ」は4種類展開されています！！





連台会日誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- | | |
|---|---|
| 8月24日(木) 振興委員会 | 11月21日(火) 乳幼児保育研修会 (かでの2・7) |
| 8月24日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世
~25日(金) 代研修会広島大会 | 11月27日(月) 総務委員会 |
| 8月26日(土) さっぽろ・ようちえん・こどもえん・に
こにこフェスティバル
(市立札幌大通高校・中央幼稚園) | 11月30日(木) 特別支援教育研修会講演 (エルプラザ) |
| 8月28日(月) 広報委員会 | 12月6日(水) 広報委員会 |
| 9月1日(金) 広報委員会 | 12月6日(水) 認定こども園委員会 |
| 9月4日(月) 子ども未来局との予算折衝 | 12月12日(火) 総務委員会・理事会 |
| 9月5日(火) 研究委員会 | 12月12日(火) 養成校懇談会 (札幌ガーデンパレス) |
| 9月23日(土) 就職フェア (ホテルさっぽろ芸文館) | 12月18日(月) 振興委員会 |
| 9月27日(水) 総務委員会・理事会 | 1月22日(月) 総務委員会・理事会 |
| 9月29日(金) 教育研究大会 公開保育研修・分科会
(市内22園) | 1月22日(月) 永年勤続表彰・新年交礼会
(札幌ガーデンパレス) |
| 9月30日(土) 教育研究大会 全体会 (札幌市民ホール) | 2月6日(火) 乳幼児保育研修会 (かでの2・7) |
| 10月5日(木) 振興委員会 | 2月7日(水) 研究委員会 |
| 10月24日(火) 広報委員会 | 2月19日(月) 札幌幼児教育セミナー (かでの2・7) |
| 10月30日(月) リーダー“力”スキルアップ講座
(かでの2・7) | 2月20日(火) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時
総会 (札幌ガーデンパレス) |
| 11月7日(火) 振興委員会 | |
| 11月8日(水) 研究委員会 | |
| 11月9日(木) 札幌市への予算要望書・SS運動署名簿手
交式 (市長会議室) | |
| 11月10日(金) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会運営
委員会 (さいたま市) | |
| 11月10日(金) 特別支援学級授業公開・交流研修
~12月12日(火) (各区小学校) | |
| 11月14日(火) 認定こども園委員会 | |
| 11月15日(水) 全日政令指定都市特別委員会研修会
(東京都) | |



〔平成30年度の主な予定〕

- 5月18日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定
時総会・懇親会 (札幌ガーデンパレス)
- 7月3日(火) P連ふれあい交流会
(真駒内公園屋内競技場)
- 9月30日(日) 就職フェア (札幌ガーデンパレス)
- 10月19日(金) 教育研究大会 公開保育研修・分科会
- 10月20日(土) 教育研究大会 全体会
(札幌市民ホール)



「よいしょ!」「よいしょ!」園内に子ども達の笑顔と元気な声が溢れた開園記念お餅つきの日。前日子どもが「何でお誕生日にお餅をつくの?」と聞いてきました。昔からお祝い事や新年を迎える時には皆で餅つきを楽しみ神様にお供えて自分達も戴く事。皆で餅をつくことで、力を合わせもっと仲良くなれることを子ども達に話しながら、昔は貴重なお米を固めてつくるお餅がどれだけ贅沢だったかも考えさせられました。伝統行事は子ども達にとって不思議が一杯です。楽しんでもらう中で、その意味を

知り伝統や歴史、昔から大切にしている想いを感じていって欲しいと、子どもがつきたてのお餅を美味しく食べる姿を見て思いました。

広報委員会でも大切に発信していきたいことは守りつつ、新たな案も取り入れながら、より皆さんに親しみを持って読んで頂ける広報誌を目指して行きたいと思います。

沢山の行事があった二学期も、もう少しで終わります。皆さん良いお年をお迎え下さい。

(広報委員 榎本真樹)